

第2章 高齢者をめぐる主な現状と課題

- 1 人口構造・高齢化率
- 2 高齢者の世帯の状況
- 3 高齢者の生活と住まいの状況
- 4 要介護認定者の状況
- 5 高齢者の受診・疾病の状況

この章では、各種統計データに基づいて、京都府の高齢者をめぐる現状と課題を明らかにします。

第2章 高齢者をめぐる主な現状と課題

1 人口構造・高齢化率

この項目のポイント

- ▶ 総人口が減少する中、高齢者数は増加し高齢化率は上昇を続ける
- ▶ 京都府の高齢化率は全国を上回る
- ▶ 山城南圏域の高齢化率は低く、丹後・中丹・南丹圏域の高齢化率は高い
- ▶ 特に75歳以上、85歳以上の高齢者人口は今後も大きく増加

(1) 全国の状況

- 我が国では、総人口が減少に転じている一方で、平均寿命の伸長や少子化を反映して高齢化が急速に進んでおり、国勢調査等の高齢化率の推移を見ると、2005（平成17）年が20.1%、2010（平成22）年が22.8%、2015（平成27）年が26.3%、2019（令和元）年が28.4%と顕著に増加しています。（図表2-1）
- 2019（令和元）年の総人口は1億2,617万人で、2015（平成27）年と比べ約92万人（0.7%）の減少となっている一方で、65歳以上の高齢者人口は3,588万人で、241万人（7.2%）の増加となっています。（図表2-1）

【図表2-1 総人口と高齢者人口の推移（全国）】

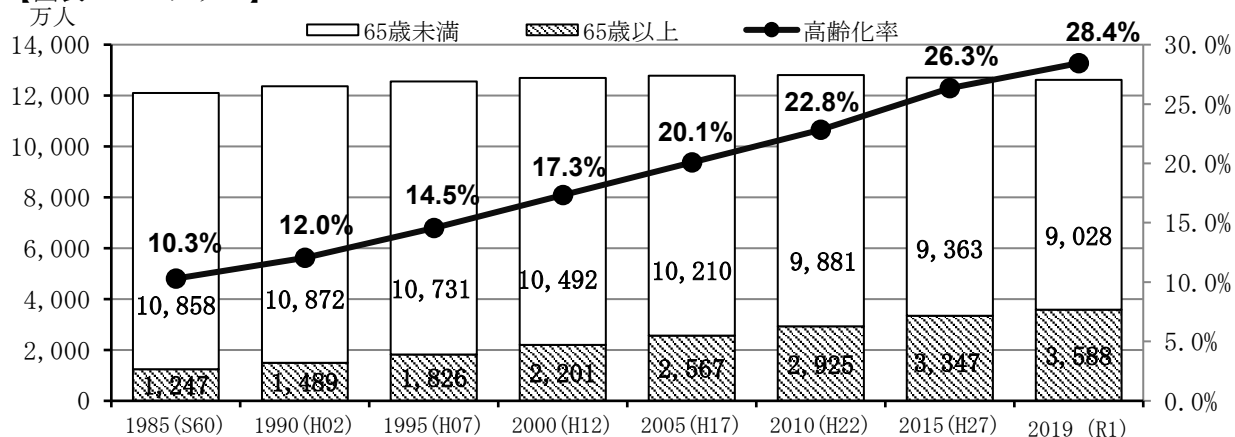
（単位：万人）

	総人口			(参考：京都府)
	総人口	高齢者人口	高齢化率	高齢化率
1985(昭和60)年	12,105	1,247	10.3%	11.2%
1990(平成2)年	12,361	1,489	12.0%	12.6%
1995(平成7)年	12,557	1,826	14.5%	14.7%
2000(平成12)年	12,693	2,201	17.3%	17.4%
2005(平成17)年	12,777	2,567	20.1%	20.0%
2010(平成22)年	12,806	2,925	22.8%	23.0%
2015(平成27)年	12,709	3,347	26.3%	26.9%
2019(令和元)年	12,617	3,588	28.4%	29.2%

注1：出典 総務省「国勢調査」（2019（令和元）年のみ総務省「人口推計」）

注2：高齢化率は過去の統計にあわせるため、総人口に年齢不詳を含めて算出している

【図表2-1 グラフ】



□ 将来推計としては、2025（令和7）年にはいわゆる「団塊の世代」が75歳に到達し、後期高齢者が急増することが見込まれ、「団塊ジュニア世代」が高齢者となる2040（令和22）年には、高齢者人口は3,900万人を超えてピークを迎えますが、現役世代の減少により高齢化率はその後も上昇を続けることが予想されます。（図表2-2）

□ また、前期高齢者人口は2020（令和2）年頃をピークに一旦減少に転じますが、後期高齢者人口は増加を続け、2040（令和22）年には総人口の5人に1人が後期高齢者となり、その後も2055（令和37）年頃までは増加が続くと見込まれています。（図表2-2）

【図表2-2 総人口と高齢者人口の将来推計（全国）】

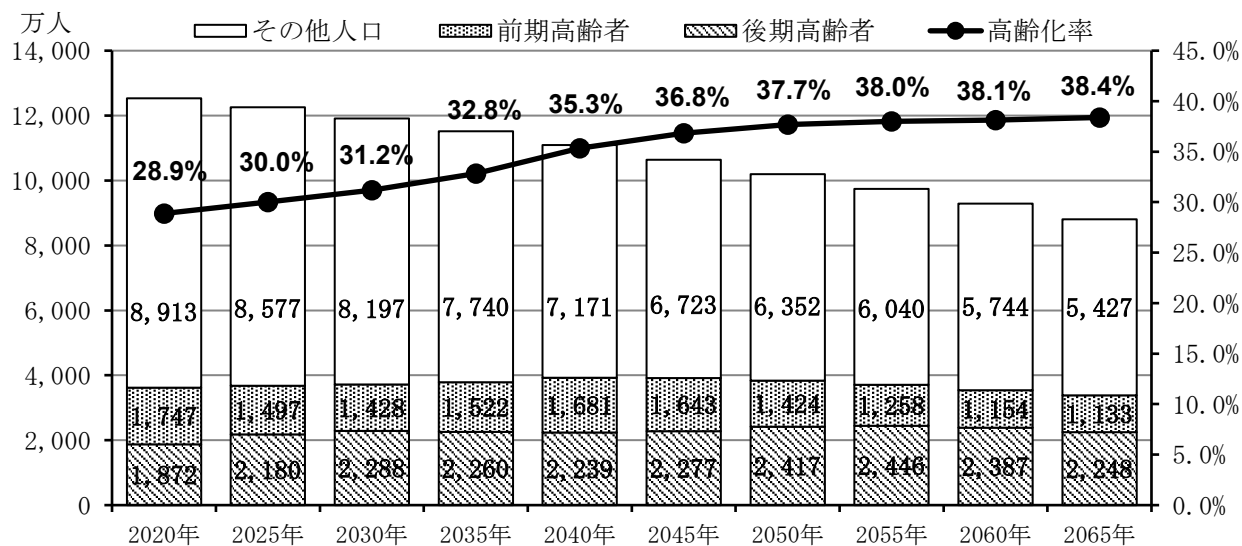
（単位：万人）

	総人口 (A)	高齢者人口 (B)		前期高齢者 (C)		後期高齢者 (D)	
		(高齢化率)		割合C/A		割合D/A	
2020 (R2) 年	12,532	3,619	(28.9%)	1,747	13.9%	1,872	14.9%
2025 (R7) 年	12,254	3,677	(30.0%)	1,497	12.2%	2,180	17.8%
2030 (R12) 年	11,913	3,716	(31.2%)	1,428	12.0%	2,288	19.2%
2035 (R17) 年	11,522	3,782	(32.8%)	1,522	13.2%	2,260	19.6%
2040 (R22) 年	11,092	3,921	(35.3%)	1,681	15.2%	2,239	20.2%
2045 (R27) 年	10,642	3,919	(36.8%)	1,643	15.4%	2,277	21.4%
2050 (R32) 年	10,192	3,841	(37.7%)	1,424	14.0%	2,417	23.7%
2055 (R37) 年	9,744	3,704	(38.0%)	1,258	12.9%	2,446	25.1%
2060 (R42) 年	9,284	3,540	(38.1%)	1,154	12.4%	2,387	25.7%
2065 (R47) 年	8,808	3,381	(38.4%)	1,133	12.9%	2,248	25.5%

注1：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」による

注2：端数処理のため、数値の合計は一致しない場合がある（以下、図表共通）

【図表2-2 グラフ】



(2) 京都府の状況

- 2019（令和元）年度の市町村報告値によると、京都府の高齢者人口は738,252人、高齢化率は29.1%となっています。（図表2-3）

【図表2-3 圏域別の総人口と高齢者人口の推移（京都府）】 (単位：人)

		合 計						
		丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南	
1990 (H2) 年	総人口	2,602,460	125,492	219,719	147,759	1,607,374	422,785	79,331
	65歳以上	327,429 (12.6%)	24,128 (19.2%)	37,841 (17.2%)	21,121 (14.3%)	197,437 (12.3%)	37,092 (8.8%)	9,810 (12.4%)
	75歳以上	142,397 (5.5%)	10,700 (8.5%)	16,101 (7.3%)	9,122 (6.2%)	86,977 (5.4%)	15,307 (3.6%)	4,190 (5.3%)
1995 (H7) 年	総人口	2,629,592	121,445	217,320	156,104	1,611,688	435,740	87,295
	65歳以上	386,976 (14.7%)	27,583 (22.7%)	44,615 (20.5%)	25,628 (16.4%)	229,528 (14.2%)	47,553 (10.9%)	12,069 (13.8%)
	75歳以上	162,555 (6.2%)	11,980 (9.9%)	18,752 (8.6%)	10,670 (6.8%)	97,634 (6.1%)	18,556 (4.3%)	4,963 (5.7%)
2000 (H12) 年	総人口	2,644,391	117,559	216,051	156,787	1,614,792	442,739	96,463
	65歳以上	459,273 (17.4%)	30,594 (26.0%)	49,713 (23.0%)	29,862 (19.0%)	273,531 (16.9%)	60,927 (13.8%)	14,646 (15.2%)
	75歳以上	194,202 (7.3%)	13,983 (11.9%)	21,986 (10.2%)	12,945 (8.3%)	115,785 (7.2%)	23,429 (5.3%)	6,074 (6.3%)
2005 (H17) 年	総人口	2,647,660	111,859	211,465	147,625	1,623,378	445,108	108,225
	65歳以上	530,350 (20.0%)	32,305 (28.9%)	53,014 (25.1%)	31,324 (21.2%)	318,920 (19.6%)	76,871 (17.3%)	17,916 (16.6%)
	75歳以上	242,033 (9.1%)	16,788 (15.0%)	27,207 (12.9%)	15,369 (10.4%)	143,317 (8.8%)	31,187 (7.0%)	8,165 (7.5%)
2010 (H22) 年	総人口	2,636,092	104,850	204,157	143,345	1,623,308	445,855	114,577
	65歳以上	605,709 (23.0%)	33,242 (31.7%)	55,977 (27.4%)	34,971 (24.4%)	362,401 (22.3%)	96,972 (21.7%)	22,146 (19.3%)
	75歳以上	286,195 (10.9%)	18,659 (17.8%)	30,456 (14.9%)	17,654 (12.3%)	169,717 (10.5%)	39,784 (8.9%)	9,925 (8.7%)
2015 (H27) 年	総人口	2,610,353	97,424	196,746	137,077	1,623,834	438,080	117,192
	65歳以上	703,419 (26.9%)	35,258 (36.2%)	60,663 (30.8%)	40,183 (29.3%)	420,110 (25.9%)	119,381 (27.3%)	27,824 (23.7%)
	75歳以上	329,552 (12.6%)	19,350 (19.9%)	31,486 (16.0%)	19,313 (14.1%)	197,904 (12.2%)	49,838 (11.4%)	11,661 (10.0%)
2019 (R1) 年	総人口	2,538,310	94,868	191,085	133,274	1,560,839	434,845	123,399
	65歳以上	738,252 (29.1%)	35,650 (37.6%)	61,213 (32.0%)	43,303 (32.5%)	437,168 (28.0%)	129,088 (29.7%)	31,830 (25.8%)
	75歳以上	384,575 (15.2%)	20,132 (21.2%)	33,232 (17.4%)	21,811 (16.4%)	230,607 (14.8%)	63,871 (14.7%)	14,922 (12.1%)

注1：出典 総務省「国勢調査」（2019（令和元）年のみ住基台帳に基づく市町村報告数値）

注2：表中の（ ）は総人口に対する割合を示す

注3：高齢化率は過去の統計にあわせるため、総人口に年齢不詳を含め計算している

□ 当計画期間内の高齢者人口の将来推計によると、高齢者人口は、2021（令和3）年から2023（令和5）年までの2年間で2千人以上減少する一方、高齢化率は29.1%に上昇する見通しです。

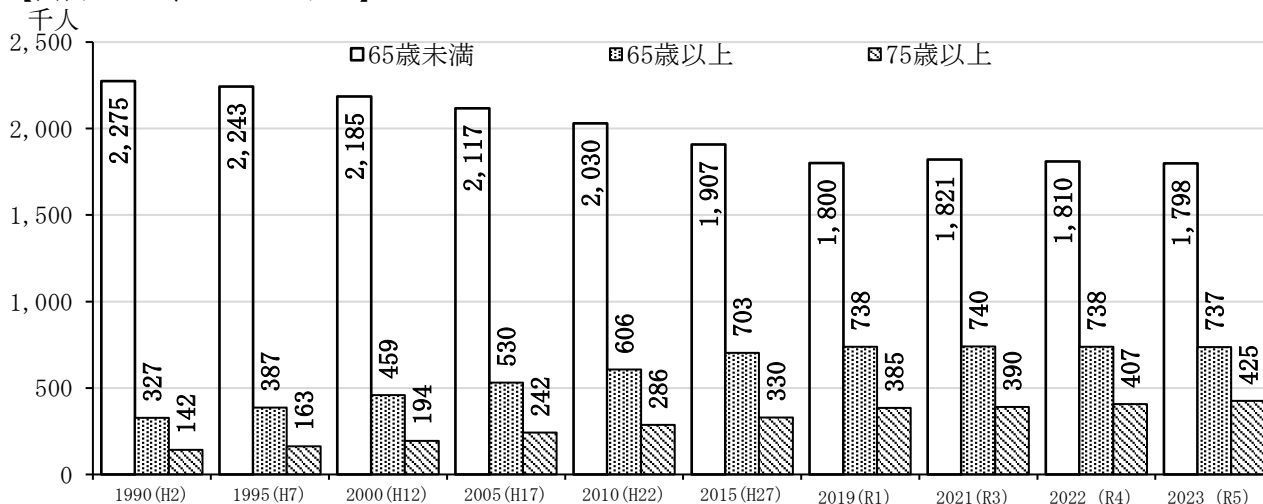
75歳以上人口は、2021（令和3）年からの2年間で約3万5千人増え、85歳以上人口は、同じく約7千人増える見通しです。（図表2-4）

【図表2-4 第9次計画期間の圏域別の総人口と高齢者人口の将来推計（京都府）】

		(単位：人)						
		合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
2021 (R3) 年	総人口	2,560,999	88,434	186,230	128,762	1,615,566	423,617	118,390
	65歳以上	739,501 (28.9%)	35,382 (40.0%)	60,955 (32.7%)	43,485 (33.8%)	437,271 (27.1%)	129,764 (30.6%)	32,644 (27.6%)
	75歳以上	389,503 (15.2%)	19,614 (22.2%)	34,171 (18.3%)	21,790 (16.9%)	232,934 (14.4%)	65,484 (15.5%)	15,510 (13.1%)
	85歳以上	129,379 (5.1%)	8,221 (9.3%)	12,786 (6.9%)	7,656 (5.9%)	77,434 (4.8%)	18,580 (4.4%)	4,702 (4.0%)
2022 (R4) 年	総人口	2,548,226	86,957	184,391	127,255	1,610,845	420,454	118,324
	65歳以上	738,017 (29.0%)	35,137 (40.4%)	60,639 (32.9%)	43,552 (34.2%)	436,104 (27.1%)	129,555 (30.8%)	33,030 (27.9%)
	75歳以上	406,716 (16.0%)	19,954 (22.9%)	34,932 (18.9%)	22,722 (17.9%)	243,196 (15.1%)	69,347 (16.5%)	16,565 (14.0%)
	85歳以上	133,747 (5.2%)	8,228 (9.5%)	12,870 (7.0%)	7,803 (6.1%)	80,284 (5.0%)	19,662 (4.7%)	4,900 (4.1%)
2023 (R5) 年	総人口	2,535,457	85,482	182,551	125,748	1,606,126	417,292	118,258
	65歳以上	737,089 (29.1%)	34,875 (40.8%)	60,346 (33.1%)	43,574 (34.7%)	435,362 (27.1%)	129,475 (31.0%)	33,457 (28.3%)
	75歳以上	424,886 (16.8%)	20,497 (24.0%)	35,765 (19.6%)	23,823 (18.9%)	253,460 (15.8%)	73,581 (17.6%)	17,760 (15.0%)
	85歳以上	136,977 (5.4%)	8,239 (9.6%)	12,937 (7.1%)	7,919 (6.3%)	82,218 (5.1%)	20,613 (4.9%)	5,051 (4.3%)

注：数値は第8期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計（第4回目）の集計による

【図表2-3、2-4 グラフ】



□ 高齢者人口の長期的な将来推計を見ると、2040（令和22）年には高齢化率が34.7%に達する見通しです。また、後期高齢者の割合も2030（令和12）年には19%を超え、約5人に1人が後期高齢者となると見込まれています。

（図表2-5）

□ 高齢者人口の長期的な将来推計を年代別・圏域別に見てみると、65歳以上人口は今後「緩やかに減少～増加」する見通しである一方で、85歳以上人口は京都府全体で2040（令和22）年に2020（令和2）年の約1.4倍に達し、圏域別に見ると2倍以上に達する圏域もあると予測されています。（図表2-5）

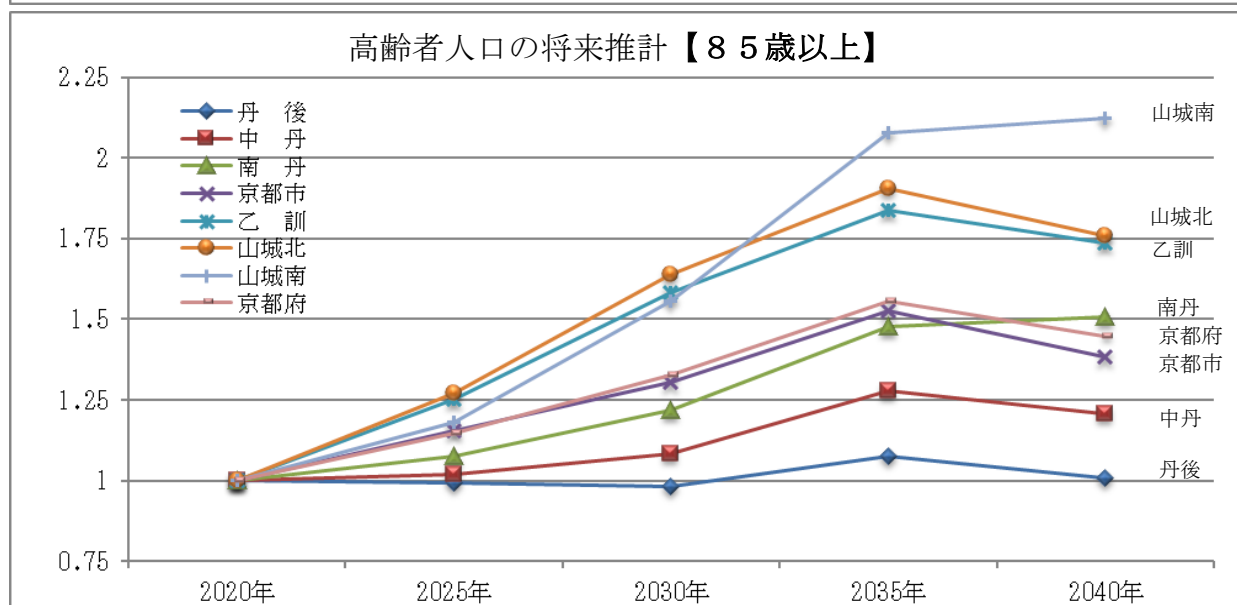
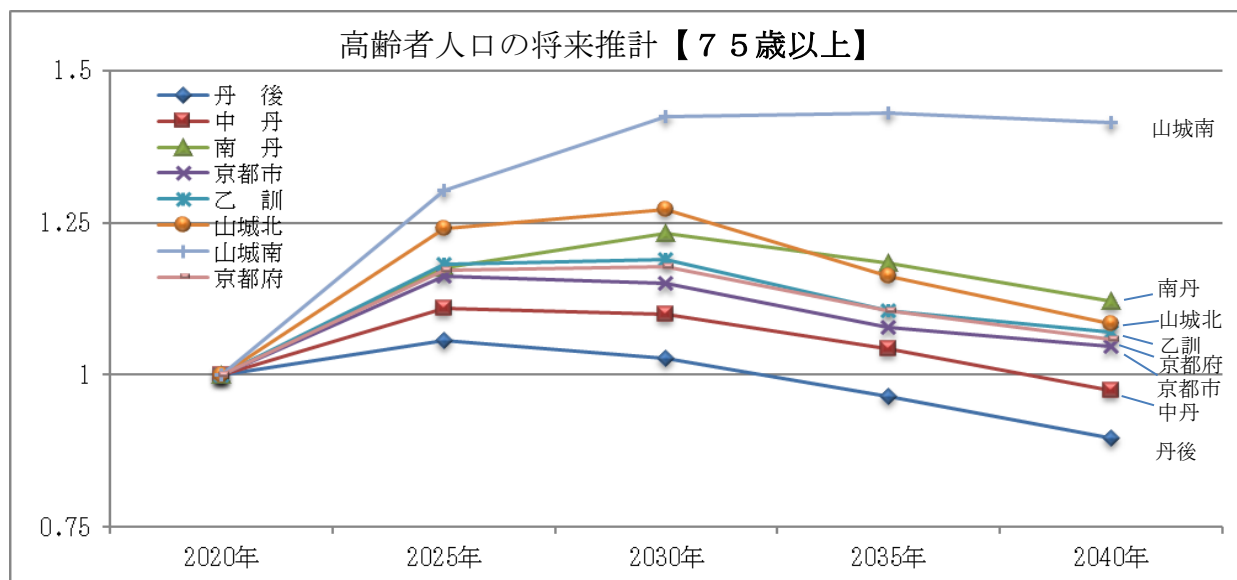
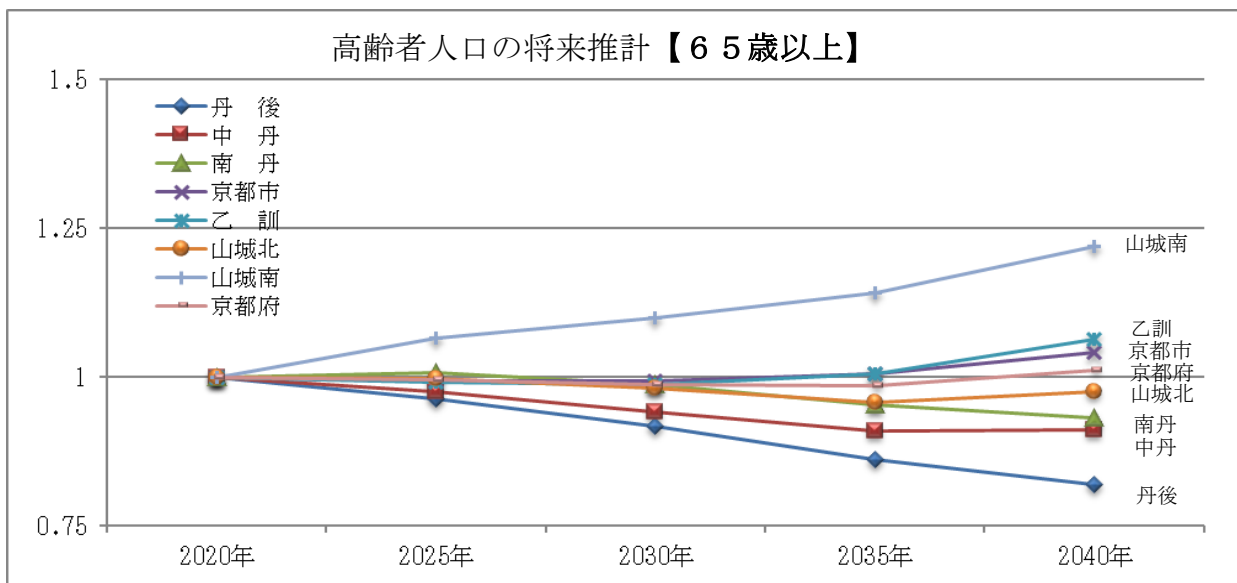
【図表2-5 総人口と高齢者人口の将来推計（京都府）】

（単位：人）

		合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
2020 (R2) 年	総人口	2,534,963	94,327	189,305	132,592	1,560,423	434,606	123,710
	65歳以上	738,698 (29.1%)	35,644 (37.8%)	61,272 (32.4%)	43,316 (32.7%)	437,039 (28.0%)	129,298 (29.8%)	32,129 (26.0%)
	75歳以上	386,046 (15.2%)	20,025 (21.2%)	33,623 (17.8%)	21,742 (16.4%)	230,973 (14.8%)	64,528 (14.8%)	15,155 (12.3%)
	85歳以上	123,644 (4.9%)	8,014 (8.5%)	12,726 (6.7%)	7,397 (5.6%)	73,435 (4.7%)	17,572 (4.0%)	4,500 (3.6%)
2025 (R7) 年	総人口	2,463,694	86,357	180,061	124,976	1,520,156	426,100	126,044
	65歳以上	734,953 (29.8%)	34,335 (39.8%)	59,742 (33.2%)	43,603 (34.9%)	434,183 (28.6%)	128,867 (30.2%)	34,223 (27.2%)
	75歳以上	452,736 (18.4%)	21,152 (24.5%)	37,277 (20.7%)	25,575 (20.5%)	268,890 (17.7%)	80,087 (18.8%)	19,755 (15.7%)
	85歳以上	141,893 (5.8%)	7,963 (9.2%)	12,970 (7.2%)	7,965 (6.4%)	85,379 (5.6%)	22,303 (5.2%)	5,313 (4.2%)
2030 (R12) 年	総人口	2,374,341	78,404	170,703	116,502	1,472,799	408,288	127,645
	65歳以上	728,895 (30.7%)	32,690 (41.7%)	57,628 (33.8%)	42,728 (36.7%)	433,738 (29.4%)	126,815 (31.1%)	35,296 (27.7%)
	75歳以上	454,336 (19.1%)	20,557 (26.2%)	36,996 (21.7%)	26,791 (23.0%)	266,373 (18.1%)	82,019 (20.1%)	21,600 (16.9%)
	85歳以上	164,104 (6.9%)	7,875 (10.0%)	13,802 (8.1%)	9,008 (7.7%)	97,607 (6.6%)	28,804 (7.1%)	7,008 (5.5%)
2035 (R17) 年	総人口	2,266,011	70,728	161,151	107,260	1,416,936	380,784	129,152
	65歳以上	727,699 (32.1%)	30,678 (43.4%)	55,730 (34.6%)	41,260 (38.5%)	439,544 (31.0%)	123,783 (32.5%)	36,704 (28.4%)
	75歳以上	426,460 (18.8%)	19,302 (27.3%)	35,080 (21.8%)	25,742 (24.0%)	249,674 (17.6%)	74,989 (19.7%)	21,673 (16.8%)
	85歳以上	192,492 (8.5%)	8,615 (12.2%)	16,244 (10.1%)	10,940 (10.2%)	113,883 (8.0%)	33,462 (8.8%)	9,348 (7.2%)
2040 (R22) 年	総人口	2,153,785	63,239	151,495	96,862	1,354,486	357,194	130,509
	65歳以上	746,915 (34.7%)	29,224 (46.2%)	55,890 (36.9%)	40,323 (41.6%)	456,083 (33.7%)	126,209 (35.3%)	39,186 (30.0%)
	75歳以上	408,870 (19.0%)	17,945 (28.4%)	32,780 (21.6%)	24,385 (25.2%)	242,384 (17.9%)	69,940 (19.6%)	21,436 (16.4%)
	85歳以上	178,689 (8.3%)	8,078 (12.8%)	15,360 (10.1%)	11,139 (11.5%)	103,676 (7.7%)	30,882 (8.6%)	9,554 (7.3%)

注：数値は第8期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計（第4回目）の集計による

【図表2-5 グラフ 2020（R2）年の人口を1とした場合の高齢者人口の増加率】

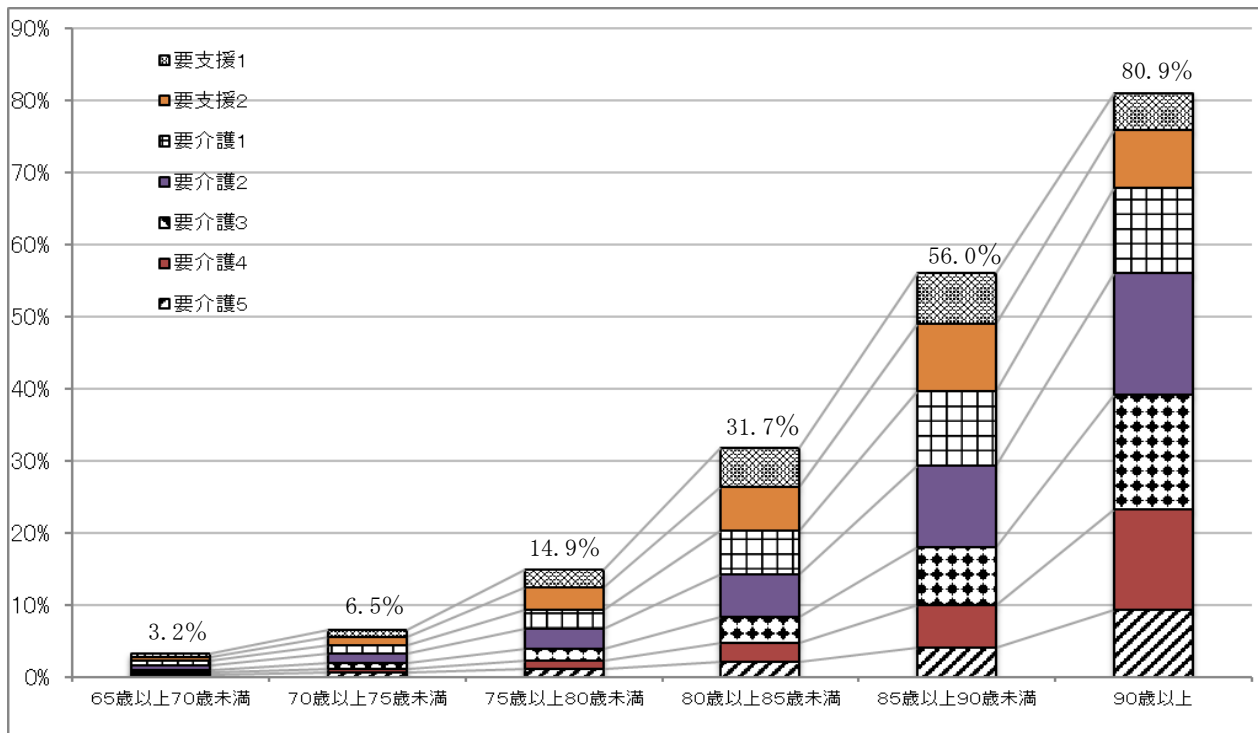


注：数値は第8期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計（第4回目）の集計による

□ 要介護認定率を年齢階級別・要介護度別で見ると、75歳以上80歳未満では15%に留まっていますが、80歳以上85歳未満では約1/3が要介護認定を受けており、85歳以上90歳未満では過半数を超え、90歳以上では約8割が要介護認定を受けています。

特に、要介護3以上に絞って見ると、80歳以上85歳未満で約1割、85歳以上90歳未満で約2割、90歳以上で約4割となっています。（図表2-6）

【図表2-6 要介護認定率（年齢階級別・要介護度別）（京都府）〔概算〕】



注：介護保険事業状況報告令和2年9月月報 及び 第8期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計（第4回目）から概算

2 高齢者の世帯の状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢夫婦世帯、高齢単身世帯が大きく増加し総世帯数の約1/4を占める
- ▶ 特に、丹後地域、中丹地域は高い状況

(1) 全国の状況

- 2015（平成27）年の国勢調査によると、高齢夫婦世帯と高齢単身世帯が大きく増加し、総世帯数の約23%を占める状況にあります。（図表2-7）
- 今後もこの傾向は続き、総世帯数が2025（令和7）年をピークに減少に転じる一方で、2040（令和22）年には高齢夫婦世帯と高齢単身世帯があわせて1,583万世帯となり、総世帯数の30%以上を占めると予測されています。（図表2-7）

【図表2-7 総世帯数と高齢者世帯の推移（全国）】

（単位：万世帯）

	総世帯数 (一般世帯)	うち高齢夫婦世帯		うち高齢単身世帯		合計	
			構成比		構成比		構成比
1985(昭和60)年	3,798	142	3.7%	118	3.1%	260	6.8%
1990(平成2)年	4,067	197	4.8%	162	4.0%	359	8.8%
1995(平成7)年	4,390	276	6.3%	220	5.0%	496	11.3%
2000(平成12)年	4,678	366	7.8%	303	6.5%	669	14.3%
2005(平成17)年	4,906	449	9.1%	386	7.9%	835	17.0%
2010(平成22)年	5,184	525	10.1%	479	9.2%	1,004	19.4%
2015(平成27)年	5,333	608	11.4%	593	11.1%	1,201	22.5%
2020(令和2)年	5,411	674	12.5%	703	13.0%	1,377	25.4%
2025(令和7)年	5,412	674	12.5%	751	13.9%	1,426	26.3%
2030(令和12)年	5,348	669	12.5%	796	14.9%	1,465	27.4%
2035(令和17)年	5,232	667	12.7%	842	16.1%	1,508	28.8%
2040(令和22)年	5,076	687	13.5%	896	17.7%	1,583	31.2%

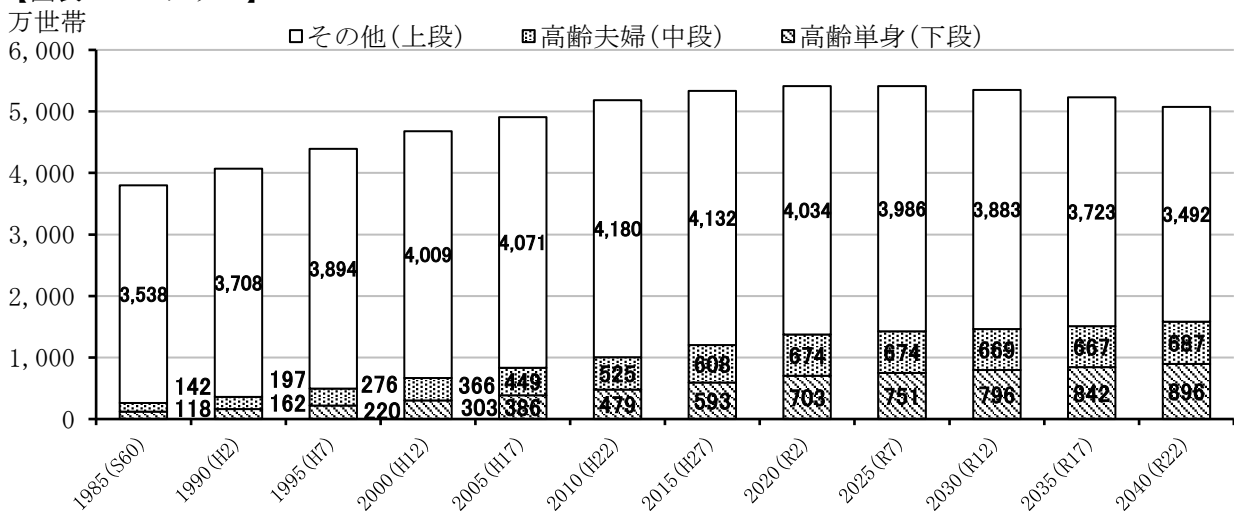
注1：2015(H27)年以前は国勢調査による

注2：2015(H27)年以前の「高齢夫婦世帯」は、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に
入所していない世帯）をいう

注3：2020（R2）年以降は国立社会保障・人口問題研究所の2018（平成30）年推計による

注4：2020（R2）年以降の「高齢夫婦世帯」は世帯主が65歳以上の世帯をいう

【図表2-7 グラフ】



(2) 京都府の状況

- 2015（平成27）年の国勢調査によると、高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加し、総世帯数の約25%を占める状況にあり、全国と比べても高い割合を示しています。（図表2-8）
- 今後総世帯数が減少する一方で、特に高齢単身世帯が増加し、2040（令和22）年には高齢夫婦世帯と高齢単身世帯が総世帯数の約33%を占めると予測されています。（図表2-8）

【図表2-8 総世帯数と高齢者世帯の推移（京都府）】 (単位：世帯)

	総世帯数 (一般世帯)	うち 高齢夫婦世帯		うち 高齢単身世帯		合計	
			構成比		構成比		構成比
1985(昭和60)年	857,424	38,034	4.4%	32,948	3.8%	70,982	8.3%
1990(平成2)年	893,733	47,776	5.3%	43,416	4.9%	91,192	10.2%
1995(平成7)年	958,252	63,756	6.7%	56,497	5.9%	120,253	12.5%
2000(平成12)年	1,015,468	82,234	8.1%	76,105	7.5%	158,339	15.6%
2005(平成17)年	1,063,907	99,794	9.4%	92,218	8.7%	192,012	18.0%
2010(平成22)年	1,120,440	117,836	10.5%	110,366	9.9%	228,202	20.4%
2015(平成27)年	1,151,422	141,150	12.3%	149,846	13.0%	290,996	25.3%
2020(令和2)年	1,164,533	148,777	12.8%	166,187	14.3%	314,964	27.0%
2025(令和7)年	1,157,598	146,264	12.6%	175,516	15.2%	321,780	27.8%
2030(令和12)年	1,135,507	142,079	12.5%	183,926	16.2%	326,005	28.7%
2035(令和17)年	1,099,515	139,619	12.7%	191,724	17.4%	331,343	30.1%
2040(令和22)年	1,056,052	143,274	13.6%	202,190	19.1%	345,464	32.7%

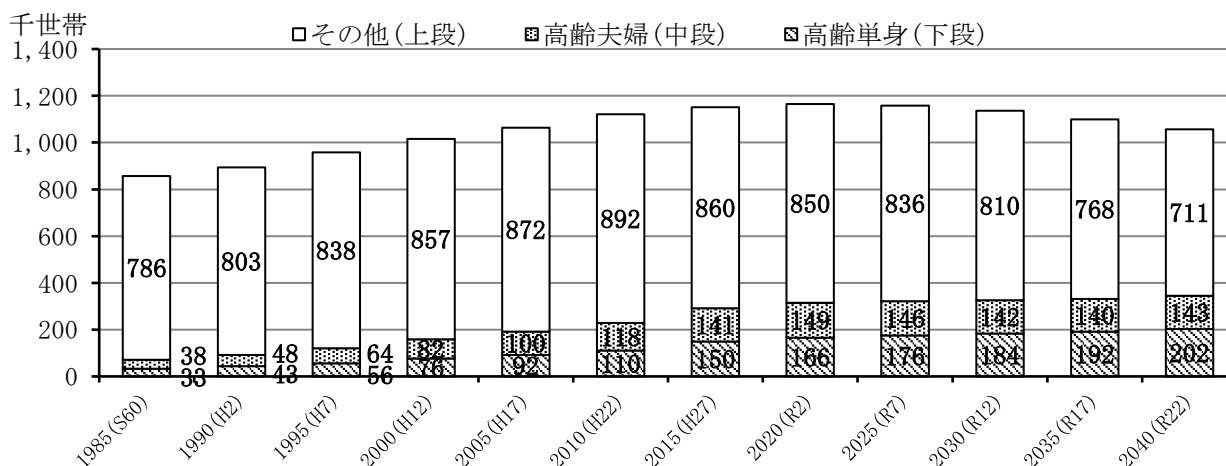
注1：2015(H27)年以前の数値は国勢調査による

注2：2015(H27)年以前の「高齢夫婦世帯」は、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に入所していない世帯）をいう

注3：2020(R2)年以降は国立社会保障・人口問題研究所の2019(平成31)年4月推計による

注4：2020(R2)年以降の「高齢夫婦世帯」は世帯主が65歳以上の世帯をいう

【図表2-8 グラフ】



- 京都府における2015（平成27）年の国勢調査の世帯数を圏域別に比較すると、高齢夫婦世帯の割合が最も高いのは丹後圏域で16.3%、次いで山城北圏域が15.0%となっています。（図表2-9）
- また、高齢単身世帯の割合についても、丹後圏域が最も高く14.5%となっており、次いで中丹圏域が13.6%となっており、特に府北部の割合が高くなっています。（図表2-9）

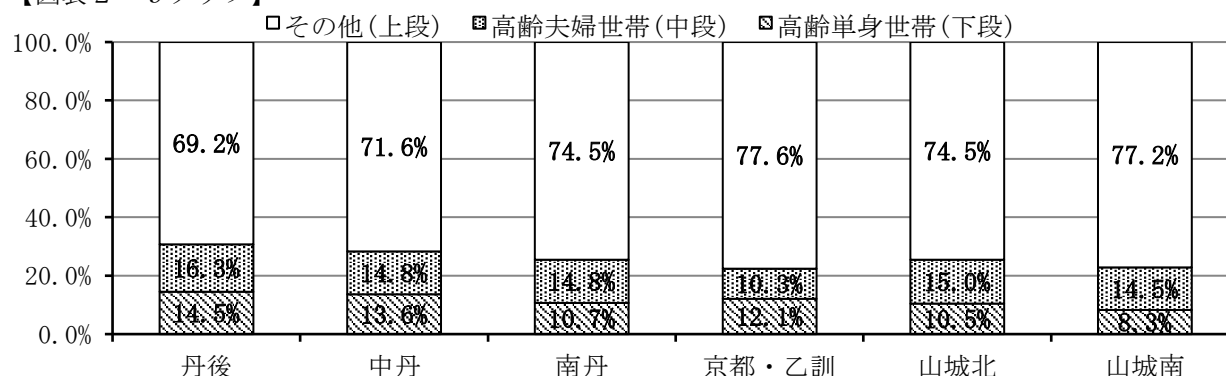
【図表2-9 圏域別の総世帯数と高齢者世帯（京都府：2015(平成27)年度）】 (単位：世帯)

	総世帯数	うち高齢夫婦世帯		うち高齢単身世帯		合計	
			構成比		構成比		構成比
丹後	37,126	6,043	16.3%	5,378	14.5%	11,421	30.8%
中丹	80,418	11,876	14.8%	10,938	13.6%	22,814	28.4%
南丹	52,028	7,702	14.8%	5,564	10.7%	13,266	25.5%
京都・乙訓	764,923	78,561	10.3%	92,882	12.1%	171,443	22.4%
山城北	174,451	26,192	15.0%	18,259	10.5%	44,451	25.5%
山城南	42,476	6,176	14.5%	3,510	8.3%	9,686	22.8%
合計	1,151,422	136,550	11.9%	136,531	11.9%	273,081	23.7%

注1：数値は国勢調査による

注2：高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に入所していない世帯）をいう

【図表2-9 グラフ】



3 高齢者の生活と住まいの状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢者世帯の1世帯あたりの平均所得金額は334万円、中央値は260万円
- ▶ 世帯主の年齢階級別（二人以上世帯）で見ると、60歳以上の世帯では年間収入は全世帯平均を下回るが、貯蓄額は2千万円を超えている。

□ 「国民生活基礎調査」（厚生労働省）によると、2017（平成29）年の1世帯あたりの平均所得金額は、全世帯では551万6千円で、高齢者世帯では、334万9千円となっていますが、中央値をみると、全世帯では、423万円で、高齢者世帯（65歳以上の人のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の人が加わった世帯）では260万円となっており、高齢者世帯のうち、約36%が世帯所得200万円以下となっています。

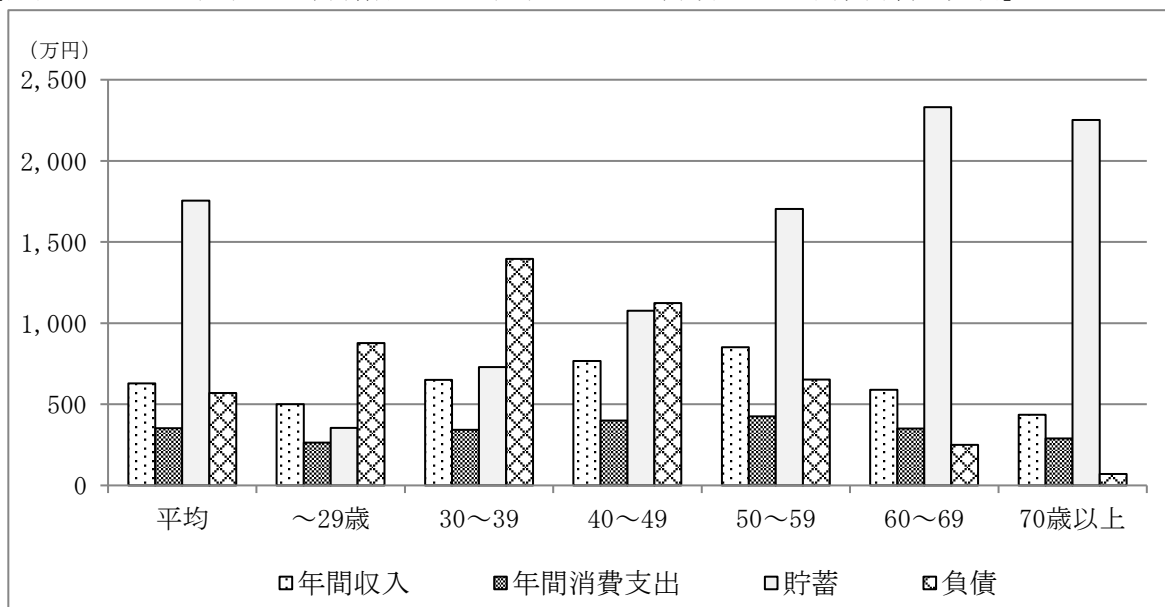
□ 二人以上の世帯を世帯主の年齢階級別に見てみると、年間収入は60～69歳の世帯で590万円、70歳以上の世帯で435万円と全世帯平均の629万円を下回っています。

年間消費支出は60～69歳の世帯が351万円で、全世帯平均の352万円とほぼ同額になっています。

貯蓄については60～69歳の世帯で2千3百万円を超えています。

負債については30～39歳の世帯が約1千4百万円でピークになり、60～69歳の世帯では250万円、70歳以上の世帯では70万円となっています。
（図表2-10）

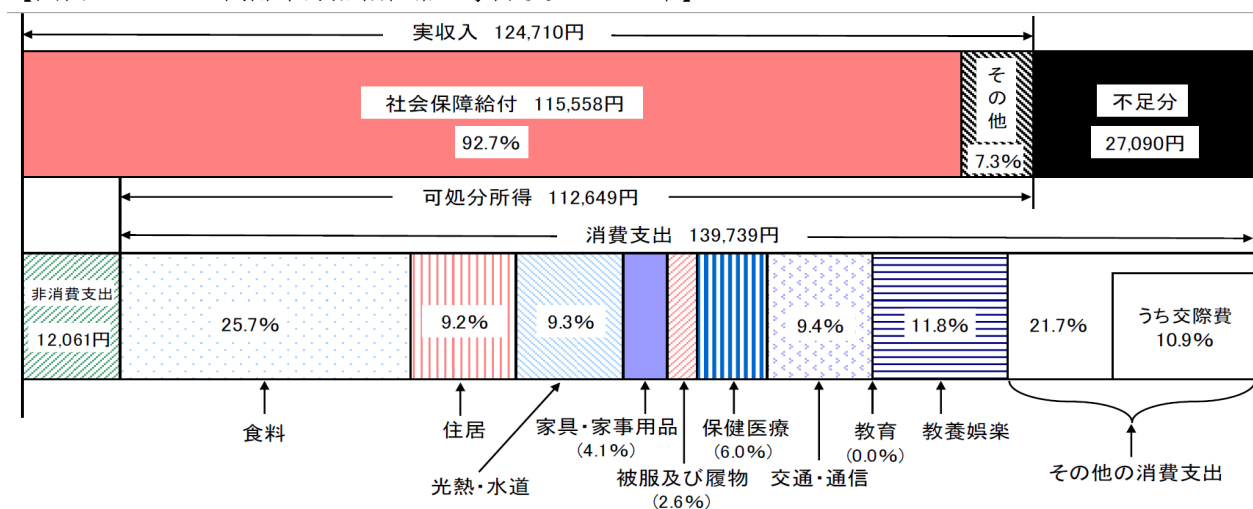
【図表2-10 世帯主の年齢階級別 1世帯当たりの年間収入・支出、貯蓄・負債】



注：数値は総務省「家計調査（二人以上世帯）」（2019年）による

- 高齢单身無職世帯（60歳以上の单身無職世帯）の実収入は月額約12万5千円で、うち可処分所得は約11万3千円となっています。（図表2-11）
- 一方、生活費などの消費支出は約14万円で、不足分は、預貯金などの金融資産の取崩しなどで賄われています。（図表2-11）
- 消費支出の内訳を見ると、「食料」、交際費などの「その他の消費支出」、「教養娯楽」などの割合が高くなっています。（図表2-11）

【図表2-11 高齢单身無職世帯の家計収支 2019年】



注1：総務省「家計調査」（2019年）による

注2：高齢单身無職世帯とは、60歳以上の单身無職世帯である

注3：図中の「社会保障給付」及び「その他」の割合（%）は、実収入に占める割合である

注4：図中の「食料」から「その他の消費支出」の割合（%）は、消費支出に占める割合である

- 生活保護受給者の推移を見ると、2018（平成30）年7月末における65歳以上の生活保護受給者は、全国で104万人、京都府では26,200人で、65歳以上の人口に占める生活保護受給者の割合は全国で2.93%、京都府で3.5%となっています。（図表2-12）

【図表2-12 生活保護受給者の状況】

		2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)
全国	65歳以上の生活保護受給者	92万人	97万人	100万人	103万人	104万人
	65歳以上人口に占める割合	2.80%	2.89%	2.89%	2.93%	2.93%
京都府	65歳以上の生活保護受給者	24,087人	25,178人	25,539人	26,086人	26,200人
	65歳以上人口に占める割合	3.44%	3.58%	3.48%	3.51%	3.50%

注：数値は厚生労働省「被保護者調査／年次調査（個別調査）」による各年7月31日現在の状況である

- 高齢者の住まいの状況については、高齢者のいる世帯のうち 持ち家世帯の割合は、高齢夫婦世帯で86.8%、高齢者単身世帯で68.2%となっています。

(図表2-13)

【図表2-13 高齢者夫婦世帯、高齢者単身世帯の居住の状況（京都府）】

	高齢夫婦世帯	高齢者単身世帯
世帯総数	130,300	155,500
うち持ち家世帯数（持ち家の割合）	113,100（86.8%）	106,100（68.2%）
うち借家世帯数（借家の割合）	16,600（12.7%）	49,000（31.5%）

注1：高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の世帯をいう

注2：高齢者単身世帯とは、65歳以上の単身世帯をいう

注3：数値は、平成30年住宅・土地統計調査による

- また、手すりや段差のない屋内など高齢者設備のある割合は、持ち家で60.9%、借家で48.8%となっています。（図表2-14）

【図表2-14 高齢者のいる世帯のうち、高齢者設備のある割合（京都府）】

	全体	持ち家	
		持ち家	借家
手すりや段差のない屋内など 高齢者設備のある割合	58.6%	60.9%	48.8%

注：数値は、平成30年住宅・土地統計調査による

4 要介護認定者の状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢者数の増加に伴い、全国・京都府とも要介護・要支援認定者が増加
- ▶ 京都府は全国に比べ、軽度者の割合が高い
- ▶ 京都府は全国に比べ、要介護認定率が高い

(1) 全国の状況

- 全国の要介護（要支援）認定者数は、2020（令和2）年3月末で約668万人となっています。（図表2-15）
- 高齢者の増加に伴って総数は増加していますが、要介護度別構成割合には大きな変化は見られません。（図表2-15）

【図表2-15 要介護（要支援）認定者数の状況（全国）】

（単位：人）

		2016 (H28) 年 3月末	2017 (H29) 年 3月末	2018 (H30) 年 3月末	2019 (H31) 年 3月末	2020 (R2) 年 3月末
要支援	1	889,645 (14.3%)	891,758 (14.1%)	877,891 (13.7%)	927,688 (14.1%)	934,336 (14.0%)
	2	858,446 (13.8%)	867,870 (13.7%)	880,319 (13.7%)	925,524 (14.1%)	944,440 (14.1%)
要介護	1	1,220,477 (19.7%)	1,259,834 (19.9%)	1,294,212 (20.2%)	1,323,102 (20.1%)	1,351,698 (20.2%)
	2	1,080,481 (17.4%)	1,102,791 (17.4%)	1,124,344 (17.5%)	1,137,175 (17.3%)	1,156,016 (17.3%)
	3	809,617 (13.1%)	832,152 (13.2%)	851,635 (13.3%)	866,569 (13.2%)	879,622 (13.2%)
	4	743,913 (12.0%)	764,491 (12.1%)	785,013 (12.2%)	801,079 (12.2%)	817,695 (12.2%)
	5	601,344 (9.7%)	600,834 (9.5%)	599,346 (9.3%)	601,279 (9.1%)	602,475 (9.0%)
計		6,203,923 (100.0%)	6,319,730 (100.0%)	6,412,760 (100.0%)	6,582,416 (100.0%)	6,686,282 (100.0%)
認定率		17.9%	18.0%	18.0%	18.3%	18.5%

注1：数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告年報」による

注2：ただし、2020（令和2）年3月末の数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告月報（令和2年3月分）（暫定）」による

(2) 京都府の状況

- 京都府の要介護（要支援）認定者数は、2020（令和2）年3月末で約15万6千人となっており、高齢者の増加に伴い、総数は2019（平成31）年3月末と比べて1.7%増加しています。（図表2-16、2-17）
- 要介護度別構成割合は、要支援1～要介護2（軽度者）の占める割合が、全体の66.1%（全国平均65.7%）となっており、全国と比べて0.4%高くなっています。（図表2-16、図表2-17）
- 認定率について見ると、全国に比べ京都府のほうが高い状況となっています。（図表2-16、図表2-17）
- 圏域別の要介護認定者数は、2017（平成29）年度末以降、どの圏域でも増加が続いています。（図表2-17）

【図表2-16 要介護（要支援）認定者数の状況（京都府）】 (単位：人)

		2016 (H28) 年 3月末	2017 (H29) 年 3月末	2018 (H30) 年 3月末	2019 (H31) 年 3月末	2020 (R2) 年 3月末
要支援	1	18,096 (12.8%)	18,274 (12.6%)	17,888 (12.1%)	20,119 (13.1%)	19,966 (12.8%)
	2	21,712 (15.3%)	22,166 (15.3%)	22,520 (15.2%)	24,475 (15.9%)	25,006 (16.0%)
要介護	1	24,338 (17.2%)	25,236 (17.4%)	26,424 (17.8%)	26,859 (17.5%)	27,241 (17.4%)
	2	27,920 (19.7%)	29,204 (20.1%)	30,025 (20.3%)	30,157 (19.6%)	31,215 (20.0%)
	3	20,356 (14.4%)	20,944 (14.4%)	21,432 (14.5%)	21,829 (14.2%)	22,429 (14.3%)
	4	16,037 (11.3%)	16,325 (11.3%)	17,025 (11.5%)	17,418 (11.3%)	17,498 (11.2%)
	5	13,036 (9.2%)	12,902 (8.9%)	12,856 (8.7%)	12,977 (8.4%)	13,067 (8.4%)
計		141,495 (100.0%)	145,051 (100.0%)	148,170 (100.0%)	153,834 (100.0%)	156,422 (100.0%)
認定率		19.5%	19.7%	20.0%	20.6%	20.8%

注1：数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告年報」による

注2：ただし、2020（令和2）年3月末の数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告月報（令和2年3月分）（暫定）」による

【図表2-17 圏域別の要介護（要支援）認定者数の状況（京都府）】 (単位：人)

	合計 (対前年伸率)	丹後	中丹	南丹	京都・ 乙訓	山城北	山城南
2016 (H28) 年3月末	141,495 (103.1%)	7,574 (102.6%)	12,237 (99.7%)	7,423 (103.1%)	89,181 (103.8%)	20,339 (102.8%)	4,741 (102.9%)
2017 (H29) 年3月末	145,051 (102.5%)	7,555 (99.7%)	12,163 (99.4%)	7,389 (99.5%)	91,971 (103.1%)	21,102 (103.8%)	4,871 (102.7%)
2018 (H30) 年3月末	148,170 (102.2%)	7,784 (103.0%)	12,236 (100.6%)	7,419 (100.4%)	94,164 (102.4%)	21,563 (102.2%)	5,004 (102.7%)
2019 (H31) 年3月末	153,834 (103.8%)	7,978 (102.5%)	12,515 (102.3%)	7,503 (101.1%)	97,780 (103.8%)	22,711 (105.3%)	5,347 (106.9%)
2020 (R2) 年3月末	156,422 (101.7%)	8,112 (101.7%)	12,614 (100.8%)	7,568 (100.9%)	99,271 (101.5%)	23,259 (102.4%)	5,598 (104.7%)

注：数値は京都府調査による

- 要介護等認定者数は今後も増加すると見込まれ、2023（令和5）年度の京都府内の認定者数は約17万人と、2020（令和2）年3月末と比較して約10%増加すると推計されます。（図表2-18）

【図表2-18 圏域別の要介護(要支援)認定者数の将来推計（京都府）】 (単位：人)

		合 計	丹後	中丹	南丹	京 都 ・ 乙 訓		山城北	山城南		
						京都市	乙訓				
2021 (R3) 年度 (推 計)	要支援	1	21,128	1,351	1,264	1,102	12,874	11,450	1,424	3,818	719
		2	26,821	1,245	2,130	1,113	17,398	16,171	1,227	4,026	909
	要介護	1	28,309	1,589	2,327	1,294	17,368	15,664	1,704	4,787	944
		2	32,044	1,262	2,656	1,305	21,287	19,822	1,465	4,351	1,183
		3	23,154	1,195	1,982	1,234	14,521	13,478	1,043	3,389	833
		4	18,383	1,035	1,605	1,052	11,350	10,320	1,030	2,575	766
		5	13,158	707	1,055	824	8,232	7,500	732	1,780	560
	合 計	162,997	8,384	13,019	7,924	103,030	94,405	8,625	24,726	5,914	
認定率	21.7%	23.4%	21.1%	17.9%	23.2%	23.5%	20.4%	18.7%	17.8%		
2022 (R4) 年度 (推 計)	要支援	1	21,777	1,362	1,292	1,139	13,274	11,788	1,486	3,956	754
		2	27,602	1,248	2,175	1,147	17,902	16,632	1,270	4,176	954
	要介護	1	29,165	1,609	2,350	1,324	17,887	16,131	1,756	5,012	983
		2	33,001	1,277	2,687	1,328	21,929	20,406	1,523	4,544	1,236
		3	23,853	1,203	2,010	1,264	14,991	13,918	1,073	3,525	860
		4	18,954	1,051	1,618	1,079	11,733	10,657	1,076	2,672	801
		5	13,528	705	1,073	848	8,474	7,722	752	1,842	586
	合 計	167,880	8,455	13,205	8,129	106,190	97,254	8,936	25,727	6,174	
(対前年伸率)	103.0%	100.8%	101.4%	102.6%	103.1%	103.0%	103.6%	104.0%	104.4%		
認定率	22.4%	23.8%	21.5%	18.3%	24.0%	24.3%	21.2%	19.5%	18.4%		
2023 (R5) 年度 (推 計)	要支援	1	22,353	1,366	1,314	1,178	13,616	12,080	1,536	4,087	792
		2	28,269	1,253	2,205	1,176	18,331	17,023	1,308	4,304	1,000
	要介護	1	29,915	1,616	2,376	1,364	18,323	16,514	1,809	5,215	1,021
		2	33,837	1,290	2,720	1,352	22,461	20,880	1,581	4,731	1,283
		3	24,454	1,214	2,033	1,287	15,384	14,274	1,110	3,642	894
		4	19,427	1,058	1,636	1,097	12,048	10,930	1,118	2,763	825
		5	13,852	709	1,079	868	8,689	7,907	782	1,904	603
	合 計	172,107	8,506	13,363	8,322	108,852	99,608	9,244	26,646	6,418	
(対前年伸率)	102.5%	100.6%	101.2%	102.4%	102.5%	102.4%	103.4%	103.6%	104.0%		
認定率	23.0%	24.1%	21.9%	18.8%	24.6%	24.9%	22.0%	20.2%	18.9%		
2025 (R7) 年度 (推 計)	要支援	1	23,157	1,358	1,343	1,236	14,029	12,409	1,620	4,340	851
		2	29,266	1,241	2,255	1,206	18,877	17,490	1,387	4,618	1,069
	要介護	1	30,988	1,599	2,426	1,409	18,902	16,983	1,919	5,555	1,097
		2	35,009	1,281	2,778	1,371	23,172	21,489	1,683	5,041	1,366
		3	25,430	1,200	2,077	1,305	15,948	14,762	1,186	3,952	948
		4	20,156	1,048	1,671	1,120	12,522	11,322	1,200	2,918	877
		5	14,351	700	1,105	889	8,986	8,158	828	2,035	636
	合 計	178,357	8,427	13,655	8,536	112,436	102,613	9,823	28,459	6,844	
認定率	23.9%	24.2%	22.6%	19.3%	25.5%	25.7%	23.5%	21.7%	19.7%		
2030 (R12) 年度 (推 計)	要支援	1	24,484	1,357	1,386	1,391	14,455	12,710	1,745	4,826	1,069
		2	30,330	1,227	2,297	1,290	19,005	17,475	1,530	5,185	1,326
	要介護	1	33,611	1,592	2,492	1,562	20,276	18,147	2,129	6,379	1,310
		2	38,242	1,258	2,833	1,469	25,162	23,238	1,924	5,805	1,715
		3	28,121	1,186	2,125	1,395	17,605	16,255	1,350	4,595	1,215
		4	22,263	1,039	1,697	1,199	13,933	12,541	1,392	3,372	1,023
		5	15,937	693	1,133	971	10,061	9,119	942	2,313	766
	合 計	192,988	8,352	13,963	9,277	120,497	109,485	11,012	32,475	8,424	
認定率	26.5%	25.5%	24.2%	21.7%	27.8%	27.9%	26.8%	25.6%	23.9%		

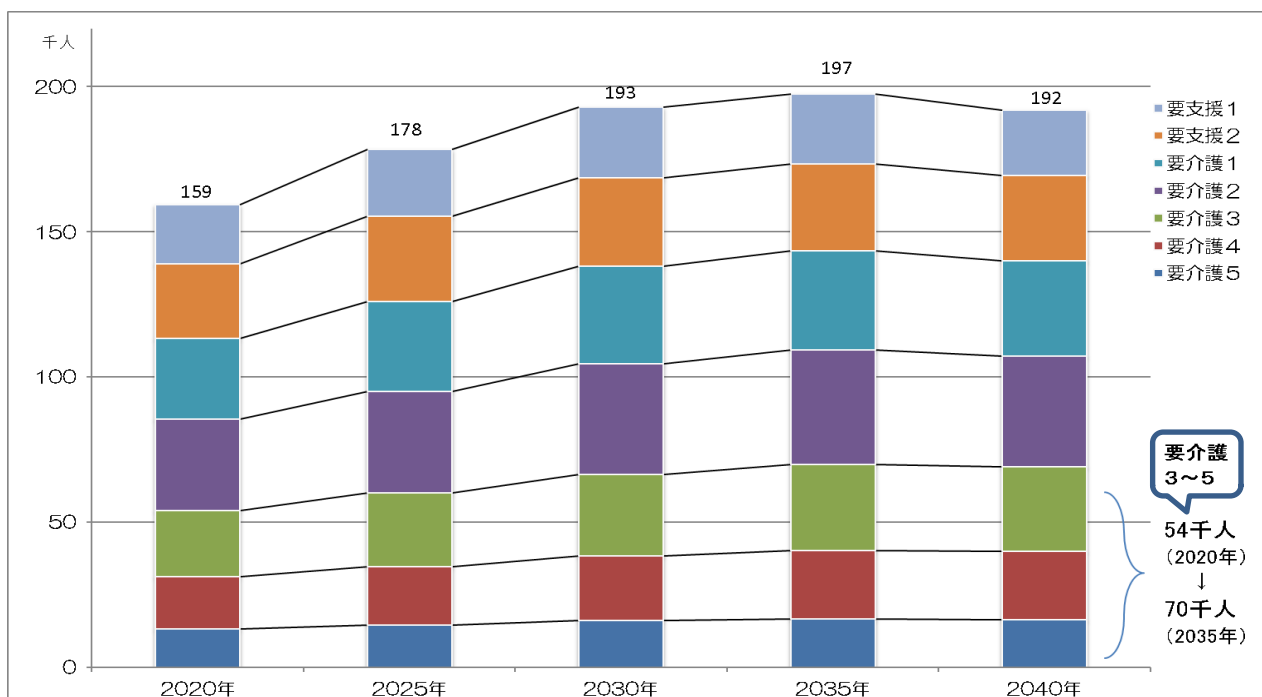
【図表2-18 圏域別の要介護(要支援)認定者数の将来推計(京都府)】※前頁つづき (単位:人)

			合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓		山城北	山城南	
							京都市	乙訓			
2035 (R17) 年度 (推計)	要支援	1	23,907	1,302	1,360	1,464	14,001	12,301	1,700	4,642	1,138
		2	30,144	1,203	2,286	1,329	18,799	17,263	1,536	5,112	1,415
	要介護	1	34,171	1,576	2,487	1,643	20,389	18,201	2,188	6,611	1,465
		2	39,432	1,249	2,841	1,547	25,808	23,753	2,055	6,036	1,951
		3	29,506	1,176	2,147	1,497	18,387	16,927	1,460	4,893	1,406
		4	23,509	1,021	1,709	1,278	14,692	13,149	1,543	3,619	1,190
		5	16,670	678	1,139	1,030	10,500	9,470	1,030	2,435	888
	合計	197,339	8,205	13,969	9,788	122,576	111,064	11,512	33,348	9,453	
認定率	26.8%	26.5%	24.8%	23.4%	27.6%	27.6%	27.2%	26.6%	25.5%		
2040 (R22) 年度 (推計)	要支援	1	22,671	1,201	1,283	1,411	13,445	11,855	1,590	4,246	1,085
		2	29,284	1,114	2,185	1,296	18,577	17,130	1,447	4,720	1,392
	要介護	1	32,762	1,477	2,378	1,628	19,442	17,299	2,143	6,339	1,498
		2	38,232	1,198	2,750	1,542	24,843	22,800	2,043	5,901	1,998
		3	29,101	1,141	2,105	1,553	17,958	16,490	1,468	4,875	1,469
		4	23,543	1,014	1,690	1,343	14,503	12,904	1,599	3,694	1,299
		5	16,367	659	1,101	1,070	10,080	9,033	1,047	2,470	987
	合計	191,960	7,804	13,492	9,843	118,848	107,511	11,337	32,245	9,728	
認定率	25.4%	26.5%	23.9%	24.2%	25.8%	25.8%	25.3%	25.3%	24.6%		

注1: 数値は第8期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計(第4回目)の集計による
 注2: 要介護(要支援)認定者数は、第1号被保険者と第2号被保険者の計

- 図表2-18でお示した今後の要介護(要支援)認定者数の長期的な将来推計をグラフ化すると、今後も要介護認定者は増加を続け、2035(令和17)年にはピークをむかえ、約19万7千人に達する見込みとなります。(図表2-19)
- 特に、要介護3~5の重度者に着目すると、今後も増加を続け、2035(令和17)年には2020(令和2)年の約1.3倍に増加することとなります。(図表2-19)

【図表2-19 要介護(要支援)認定者数の将来推計(京都府)】



注: 介護保険事業状況報告令和2年9月月報及び第8期介護保険事業計画における介護サービス見込量等の市町村推計(第4回目)から試算

5 高齢者の受診・疾病の状況

この項目のポイント

- ▶ 高齢者の受診数が、全体の約半数を占めており、疾病では「循環器系疾患」が最も多い
- ▶ 京都府の高齢者医療費は全国平均と比較して高水準

(1) 受診者総数等の状況

- 平成29年患者調査によると、全国の高齢者の受診者総数は約460万人であり、患者数の54.2%となっています。(図表2-20)

【図表2-20 患者数の状況(全国)】

	入院	外来	合計
患者数	131.3万人	719.1万人	850.4万人
うち65歳以上	96.1万人 (73.2%)	364.5万人 (50.7%)	460.6万人 (54.2%)

注：数値は厚生労働省「平成29年患者調査」による

- 京都府内の高齢者の受診者総数は約9.0万人で、患者数の56.3%と約6割を占める状況であり、全国より高い数値となっています。(図表2-21)

【図表2-21 患者数の状況(京都府)】

	入院	外来	合計
患者数	2.9万人	13.1万人	15.9万人
うち65歳以上	2.3万人 (78.8%)	6.7万人 (51.4%)	9.0万人 (56.3%)

注：数値は厚生労働省「平成29年患者調査」による

- 高齢者の入院に係る傷病別の状況をみると、「循環器系疾患」が21.1%と最も多く、次いで「精神及び行動の傷害神経系疾患」が12.9%、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」がそれぞれ10.9%となっています。

(図表2-22)

【図表2-22 高齢者の入院に係る傷病別の状況(京都府)】

	第1位	第2位	第3位
傷病分類名 (構成比)	循環器系疾患 (21.1%)	精神及び行動の傷害 神経系疾患 (12.9%)	損傷、中毒及び その他の外因の影響 (10.9%)
主な傷病	高血圧性疾患 脳血管系疾患	統合失調症 神経症性障害 ストレス関連障害	骨折

注：数値は京都府健康福祉統計「平成29年患者調査」による

(2) 高齢者医療費の状況

- 2018（平成30）年度の京都府の高齢者医療費の総額は約3,683億円となっており、1人当たり高齢者医療費は、1,021,654円で全国第15位と全国的にも高水準となっています。（図表2-23、2-24）

【図表2-23 高齢者の医療費の状況（京都府）】

	2016（H28）年度	2017（H29）年度	2018（H30）年度
高齢者医療費総額	3,397億円	3,558億円	3,683億円
給付件数	944万件	989万件	1,028万件

注：数値は厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」による

【図表2-24 高齢者の1人当たり医療費の状況（全国上位）】

1位	2位	3位	15位	47位	全国平均
福岡県 1,179千円	高知県 1,178千円	長崎県 1,103千円	京都府 1,022千円	新潟県 760千円	944千円

注：数値は厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」による